

## 【ヨハネの黙示録2章】

「わたしは、あなたの苦しみと貧しさとを知っている。～あなたがたは十日の間苦しみを受ける。死に至るまで忠実でありなさい。」

(2:9, 10)

2章には「耳のある者は聞きなさい」と3回も出てきます。それは霊の耳を開いて、ただ聞くのではなく、その深い意味を主に問い続けなさいと言う意味です。2、3章は7つの教会の事が書かれてあります。携挙にあずかる教会として、スミルナとフィラデルフィア教会があげられますが、この2つの教会には何の責められるところがありません。ただ、スミルナ教会は迫害の中にあり、それを耐え抜いたら、合格点がもらえると言うことです。

9節で「あなたの苦しみと貧しさとを知っている。」と言われていました。迫害下にある聖徒にとってこれはどんなに大きな励ましでしょうか！私達も苦しみを覚える時、主に知られ、祈られているということがどんなに大きな支えとなり、励ましとなり、力となるのです。互いにとりなし合ひましょう。教会で祈りましょう。

先日ザンビアの孤児院でお世話をしておられるムタレ桜子宣教師のテレビ放映があり、大きな反響がありました。メディアで世界中の人に知らせられる時代になり、テレビを観て初めてその実態を知り驚きと感動が与えられたことですが、神の働きにサポーターが与えられ、ワーカーが出てくることを祈ります。

10節には10日の間苦しみを受けると言われていました。文字通り“10日”という方もありますが、一定の期間を表して、その期間が終わると解放されるのです。苦しい時はその苦しみが永遠に続くのではないかと思われませんが、神様のみ思いがあって苦しみをある期間与えられます。この苦しみには終わりがあることを知らされたなら、耐えやすく、励まされ、希望が湧いてくるでしょう。

かつて妻はリューマチで非常に痛みを覚え苦しみました。その時は、この痛みが永遠に続くなら...と考えるだけで体が萎えてしまうほど力がなくなり、希望も失せていったそうです。苦しみの時は区切られています。忍耐して死に至るまで忠実でありましょう。自分の力では出来ない事も、感謝し、賛美し、喜んで信仰の対応をすることで、聖霊の力によって耐えられるでしょう。

「神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に会わせることはなさいません。」(Iコリント10:13)

忍耐する時、神の与えて下さるものは“いのちの冠”です。この世の中でも競争で勝ってゴールに着いた時には、栄冠が与えられるでしょう。メダルや、名誉、権力等、しかしそれらがどんなに素晴らしくてもそれは永遠の世界に通じる物ではありません。神様は永遠に朽ちる事のない冠を与えて下さいます。「試練に耐える人は幸いです。耐え抜いて良しと認められた人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠を受けるからです。」ヤコブ1:12

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014.1.5 No.770

新年のみ言葉

いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ピリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3:16

あと31日

NEW

日本二十六聖人殉教記念

長崎殉教記念聖会

14時西坂公園/18時30分長崎市平和会館

NEW

日本二十六聖人の足跡をたどって  
殉教記念祈りのツアー

申し込み開始!

2014年2月6日(木)

主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>

